

---

# 婦人会報

---

立教184年 **11**月

令和三年  
2021年



天理教婦人会旭日支部

通巻509号

# 祝いのごとば

本日は、天理教婦人会旭日支部第八十七回総会を開催され、誠におめでとうございます。日頃はそれぞれの持ち場立場の上でたすけ一条のご用をおつとめくださり、ご苦勞様でございます。

婦人会では、

「ひながたをたどり陽氣ぐらしの台となりましょう」

との成人目標のもと、昨年引き続き、

「元をたすねご恩報じの日々を」

と活動方針を掲げ、その上で今年は、具体的な項目をそれぞれで定めることを申し合わせています。旭日支部におかれましても、定めたその動きを進めてくださっていることと存じます。

おふでさきに、

いましてハこのよはじめたにんげんの

もとなる事をたれもしろまい

このたびわこのもとなるをしいかりと

とふぞせかいゑみなをしゑたい

と、今まで誰も知らなかつた親神様の思召、元初まりのことを知らせて、これまでにない珍しいたすけをすると仰せくださっています。

十六 1

十六 2



婦人会創設に関するおさしづに、「道始めて互い／＼の論し合いの道治めてやれ」とありますように、私たちが親神様の思召をしつかりと悟り、心に治める上に、談し合い論し合いは欠かせません。今、コロナウイルスの影響で集まるのは難しい状況ではありますが、工夫をして会員同士の繋がりを深め、また自ら教えの理を求めて勉強し、確かな信仰信念を培う努力をしましょう。

婦人会長様は、私たち会員に対して、

「私達は、親神様の十全の守護の中に生かされ、日々、教祖にお導き頂いています。その感謝の心を忘れず、ご恩報じをいつも念じていれば、今自分にできること、今だからできることが必ず見つかるはずです。身上、事情で悩んでいる方に声をかけ、話を聞くこともおたすけです。小さなことからでも実行していきましょう。」

『みちのだい』第199号

と私たちの進むべき道をお示しく下さいました。

陽気ぐらしへと向かうこの真実の教えの道を自ら心勇んで通り、この素晴らしい教えを世界中に行き渡らせることを目標に、自分にできるにいがけおたすけにお励みくださることをお願いをして、祝いのことはとさせて頂きます。

立教百八十四年十月三十一日

天理教婦人会本部



# 働く手は

おやさまのおこころ

— 逸話篇一九七番より —

— 我がことと申うて —

教祖が、いつもお聞かせ下されたお話に、

「世界中、互いに扶け合いするなら末の案じも危なきもない。仕事は何んほでもあるけれども、その仕事をする手がない家もあれば、仕事をする手は何んほでもあるが、する仕事がない家もある。

奉公すれば、これは親方のもと思わず、陰日向なく自分の事と申うて、するのやで。秋にでも、今日はうつつとうしいと思うたら、自分のものやと思うて、筵でも何んでも始末せにやららん。

陰日向なく働き、人を助けて置くから、秋が来たら襦袢を拵えてやろう、何々してやろう、というようになってくる。こうなってくると、双方たすかる。同じ働きをしても、陰日向なく自分の事と思うて働くから、あの人は如才ない人であるか

ら、あの人を傭うというようになってくる。こうなつてくると、何んほでも仕事がある。

この屋敷に居る者も、自分の仕事であると思うから、夜昼、こうしよう、ああしようと心にかけてする。我が事と申うてするから、我が事になる。ここは、自分の家や、我が事と申うてすると、自分の家になる。陰日向をして、なまくらすると、自分の家として居られぬようになる。

この屋敷には、働く手は、いくらでもほしい。働かん手は一人も要らん。」

と。又、ある時のお話に、

「働くというのは、はたはたの者を楽にするから、はたらく（註、側楽・ハタラク）と言うのや。」

と、お聞かせ下された。



2017年頃、世間で話題になった「名もなき家事」という言葉があります。ある企業が共働き夫婦の意識調査の結果をキャンペーンとして発表したものです。掃除・洗濯・料理など以外に家事の中には様々な雑用が沢山あるのです。ゴミの分別・食事の献立を考える・飲みっぱなしのグラスの片付け・食べ残しの食品を冷蔵庫にしまう等々、その様なことに埋もれて主婦（主夫）は日々忙しくしているという内容ですが、それは家の中だけでなく、仕事場でも同じではないでしょうか。

それぞれ持ち場立場での主たる業務以外にお茶出し・ゴミ出し・ちょっとした片付けや、根回しといわれる業務間の連絡調整等々、隠れた雑用は職場にも沢山あると思われれます。

逸話篇の中で教祖がおっしゃるように、家庭内や職場で一人一人が「我が事と思って、陰日向なく」家事や職場内の雑用に取り組めば「はたはたは楽になり」、雑用が集中することで悩む人も少なくなるのではと考えさせて頂きました。

先ずは自分から「はたはたを楽にするよう」働けたら素敵ですね。



## 「勤労感謝の日」とは

もももも新嘗祭（にいなめまつり）

という五穀豊穡を感謝するお祝いが、この祝日の由来といわれています。農作物の収穫をお祝いする日だったのです。

GHQの考えにより天皇が関わる祭日は

祝日として取り扱わなくなり名称が変わりました。

「勤労感謝の日」の由来は、諸説ありますが、アメリカの祝日である11月第4木曜日の感謝祭 Thanksgiving Dayの10月第1木曜日の労働者の日 Labor Dayを和訳した（ひらいた） Labor Thanksgiving Day を日本語訳し「勤労感謝の日」となりました。

働ける喜びに感謝するようになり、  
たぐやとの支えの下さってくださる方  
々に感謝して日々通らせて頂きま  
しょう。





# 婦人会旭日支部第87回総会

## 開会いたしました!

去る10月31日(日)、婦人会旭日支部第87回総会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、昨年は中止せざるを得ない状況でした。今年は、各教会の会員を代表して、委員部長のみ参加といたしました。

3年前の婦人会長様ご臨席総会以来の久しぶりの総会でしたが、おつとめの手も鳴物の音も勇んで、一手一つにつとめることが出来ました。木々の緑も色づき始めたこの秋に、やっとの思いで開催できた



喜びはひとしおでした。

今回は感染防止対策を講じながらでしたので、会員の皆さんの参拝も唱和も叶いませんでしたが、少しでも早くコロナ禍が収束し、なお一層、親神様、教祖にお喜びいただける婦人会活動ができるよう、委員部一同、真剣におつとめをつとめました。委員部長48名、支部長、来賓含め計53名の参加をいただきました。

### — 総会プログラム —

- てをどりまなび
- 式典
  - 一、開会の辞
  - 一、会務報告
  - 一、支部長あいさつ
  - 一、大教会長様祝辞
  - 一、誓いの言葉
  - 一、閉会の辞
- 式典後、お弁当配布にて解散



# 十二月例会案内

十二月五日 (日) 午前十時

内容 旭日大教会  
教祖祭

お願いづとめ  
よろづよ八首  
大教会ひのきしん  
弁当配布



## 十二月例会役割

扨者	賛者	指図方
坂本みさ子	吉田せつ	村井明子
生駒恵美子	前田理恵	

※十二月の鳴物当番はありません。



女子青年例会案内

日時 十二月十二日(日)

午前九時

内容 大教会大掃除ひのきしん



## 今月の表紙より

親里大路の銀杏並木はとても有名です。教会本部側と天理参考館を、道路をまたいでつなぐ歩道橋からの眺めが特におすすめ。並木の整然とした美しさが視界にまっすぐ飛び込んできます。

天理市の「市の木」である銀杏。発掘された化石などから、2億年以上前から地球上各地で繁殖してきたとされ、現在も見られる最古の木です。花言葉は「荘厳」「長寿」「鎮魂」。銀杏はとても長寿の木としても有名なためです。私たちの天理教でも115歳が定命とお教えくださっています。銀杏のようにまっすぐに生き生きと、日々通ることができますように。

旭日大教会のホームページです。一度ご覧いただき活用下さいますようお願いいたします。カラーで楽しめます。

\* URL <https://asahi49.net>







発行所	発行者	発行日
天理市田井庄町一二八	岡本道子	令和三年十一月五日